

地上より永遠に (From Here to Eternity)

観賞日 2024年9月9日 上映時間 118分

【概要】

制作 1953年 アメリカ
監督 フレッド・ジンネマン
原作 ジェームズ・ジョーンズ
脚本 ダニエル・タラダッシュ
音楽 ジョージ・ダニング、モリス・ストロフ
撮影 バーネット・ガフィ
出演 パートランカスター (ミルトン・ウォーデン)、デボラ・カー (カレン・ホームズ)
モンゴメリー・クリフト (ロバート・E・リー・ブルーイト)
ドナ・リード (ロリーン・アルマ)、フランク・シナトラ (アンジェロ・マジオ)



【あらすじ】

1941年、ハワイの米軍基地。ブルーイトが他の基地から移転してくる。ブルーイトはラップ吹きだがボクサーとしてもならした男。ボクシング部顧問のホームズ大尉は彼をボクシング部に誘うが硬骨漢の彼は頑として応じない。気を悪くしたホームズは部員に命じてブルーイトを徹底的にいじめ始める。ある日、ブルーイトは旧友のマジオに誘われてクラブに出かけホステスのロリーンと恋仲になる。ブルーイトの直属上司のウォーデンもホームズの妻カレンと不倫関係に陥る。その後、軍律を犯したマジオが営業に入れられ、看守のシャドソンに惨殺されるという事件が起きる。ブルーイトはマジオの仇をとるが自分も負傷し、ロリーンのもとに匿われる。そんな時、日本軍の奇襲攻撃があり、ブルーイトはロリーンの制止を押し切って軍隊に戻ろうとするが・・・。

日米開戦直前の米軍基地内の様子を描いて、アカデミー賞作品賞に輝いた問題作。

■ポイント

●フレッド・ジンネマン (1907年~1997年)

ウィーンでユダヤ人医師の家庭に生まれる。ウィーン大学在学中に映画に興味を持ち、パリ、ベルリンで映画製作の修行を行う。1929年渡米。「山河遥かなり」(1948年)で注目を浴び、「真昼の決闘」(52年)で地位を確立。メッセージ性の強い作品が多いことから「ハリウッドの良心」と呼ばれた。他の代表作:「わが命つきるとも」(66年)、「ジャッカルの日」(73年)。97年、心臓病で他界。



●受賞 (アカデミー賞)

12部門にノミネートされ下記8部門で受賞

作品賞、監督賞、助演男優賞 (フランク・シナトラ)、助演女優賞 (ドナ・リード)
脚色賞、撮影賞、録音賞、編集賞

■見どころ

- 日米開戦当時の日米両軍基地内での生活ぶりの違い
- 有名な波打ち際のキスシーン (B・ランカスターとD・カー)
- 「ゴッドファーザー」にも描かれたシナトラが何としてでも出演したかった作品
- 日本軍による真珠湾奇襲攻撃
- ブルーイトの名前「ロバート・エドワード・リー・ブルーイト」は何を意味するのか
南北戦争の南軍の将軍は「ロバート・エドワード・リー」